

みえ県議会 だより

NO. 190

令和4年 (2022年) 5月1日



田丸城跡 (県指定史跡・玉城町)

発行／三重県議会 編集／三重県議会広聴広報会議

「みえ県議会だより」に関するご意見・ご感想をお寄せください。

〒514-8570 津市広明町13 ☎059(224)2877

FAX 059(229)1931 ✉gikaik@pref.mie.lg.jp

URL https://www.pref.mie.lg.jp/KENGIKAI/

URL http://www.gijiroku.jp/mie/(スマホ版)

URL https://www.facebook.com/miepref.gikai (Facebook) ▲議会ホームページ ▲スマホ版議会だより ▲議会Facebookページ



～令和4年度当初予算などについて議論～ 令和4年三重県議会定例会 2月定例会会議、3月会議

「強じんな美し国」をめざして三重を前へ進める過去最大の予算となる令和4年度当初予算を審議・可決したほか、「強じんな美し国ビジョンみえ(仮称)概要案」および「みえ元気プラン(仮称)概要案」などについて議論しました。

審議結果と主な開催実績

審議結果

2月定例会月会議 (2月17日～3月24日)

可決した議案

○令和3年度三重県一般会計補正予算(第18号)
：新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策や観光需要の喚起策、事業継続の支援などの取り組みを進めるための経費約148億円

○令和3年度三重県一般会計補正予算(第19号)
：「三重県まん延防止等重点措置」の延長に伴う時短要請等への協力金等約88億円
○令和4年度三重県一般会計予算
ほか33件

不採択とした請願

○県議会議員定数の伊賀市選挙区削減の撤回を求めることについて

可決した意見書案

○地方議会におけるオンラインによる参考人からの意見聴取を可能とする法改正を求める意見書案
○女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書案

可決した決議案

○ロシアによるウクライナ侵攻に厳重に抗議する決議案

3月会議 (3月31日)

可決した議案

○三重県県税条例等の一部を改正する条例案
○工事請負契約の変更について
※議案の概要、議員別の賛否等の状況などは、県議会ホームページの「本会議」からご覧いただけます。

主な開催実績

2月

17日 本会議
議案53件上程
花や木で健やかな三重をつくる条例
策定調査特別委員会
委員会において検討する条例案等に
に係る委員意見について 他

24日 本会議

代表質問(3人)、議案に関する質疑(3人)
予算決算常任委員会5分科会
議案の審査、所管事項の調査

28日 本会議

一般質問(5人)、議案2件可決
予算決算常任委員会
議案の審査

2日 3月 本会議

一般質問(4人)、決議案1件上程
可決

4日 本会議

一般質問(4人)

7日 本会議

議案20件上程

9日 本会議

一般質問(5人)、議案に関する質疑(3人)
予算決算常任委員会
議案の審査

10日 本会議

予算決算常任委員会
議案の審査

11日、14日、15日、16日 各常任委員会・分科会

議案の審査、所管事項の調査 他
差別解消を目指す条例検討調査特別委員会
委員長の互選、パブリックコメントによる意見への対応案の検討

18日 本会議

議案71件可決、請願1件不採択、意見書案2件上程・可決
差別解消を目指す条例検討調査特別委員会
パブリックコメントによる意見への対応案の検討

22日 本会議

議案2件上程・可決
環境生活農林水産常任委員会
議案の審査

24日 本会議

医療保健子ども福祉病院常任委員会
副委員長の互選
予算決算常任委員会総務地域連携デジタル社会推進分科会
議案の審査

31日 本会議

議案2件上程・可決
花や木で健やかな三重をつくる条例
策定調査特別委員会
花や緑に関する県の取り組みについて 他

※この他にも、議会運営委員会、代表者会議、全員協議会、委員長会議、議案聴取会、広聴広報会議など、さまざまな会議を開催しました。
※本会議等はインターネット中継や録画配信でもご覧いただけます。

代表質問

地域機関の見直しについて

三谷 哲央 議員
(新政みえ)
桑名市・桑名郡選出



問 県の地域機関は県民と直
接触れ合う場であり、市町
など基礎自治体に関わる場面も多
く、県民が県政を一番身近に感じ
る場があります。それだけに地域
機関の在り方には、歴代知事の政
治哲学が色濃く出ていました。
県は令和5年度に向け組織の在
り方について検討する会議を設け
るとのことですが、「強じんな
美し国ビジョンみえ(仮称)」の
基本理念を具体化するための地域
機関の在り方を議論いただきたく
思います。知事の考えをお聞か
せください。

答 組織を考えるうえで重要
なことは、県民のために働
ける組織となっているか、そして、
そこで働いている人が働きやすい
組織となっているかだと思いま
す。地域機関の組織を充実させる
ことのメリット・デメリットを
しっかりと考え、これから組織を
担っていく若い職員や多くの行政
経験のある管理
職などからの意
見に耳を傾け、
県民の皆さんや
市町の声に対応
するにはどうい
う組織が一番良
いのか、しっかりと議論したいと
考えています。



三重県庁

その他の質問事項
○「強じんな美し国ビジョンみえ
(仮称)概要案」について
○「みえ元気プラン
(仮称)概要案」
について ほか



▲代表質問 (三谷哲央 議員)

展望する三重の姿!

中森 博文 議員
(自由民主党)
名張市選出



問 総合計画は県政運営の最
上位の基本指針であります
が、法律で策定が義務付けられて
いるわけではありません。しかし、
知事は長期構想
「強じんな美し国
ビジョンみえ(仮
称)」を策定する
と判断されました。
三重県は条例で、中長期的な計
画の策定は議会の議決を必要とし
ていきますので、議会としても積極
的に関与していきたいと考えてい
ます。そこで、知事はなぜ長期構
想を策定するのか、構想に込めた
知事の思いをお聞かせください。

答 県政を展開していくうえ
で重要なことは県政の課題
を整理することです。また、三重
県を取り巻くリスクに対処し、
チャンスは逃さず発展につなげる
ためには、航海の羅針盤となるよ
うな、中長期的な県政の取り組み
方向を示す長期計画が必要です。
こうした考えのもと、新たな長期
計画となる「強じんな美し国ビ
ジョンみえ(仮称)」を策定し、
県民の皆さんの安全・安心を確保
しつつ、三重県が「選ばれる地域」
となるよう取り組んでいきたいと
考えています。



その他の質問事項
○知りたい! 県政運営の基本姿
勢!
○夢を語る! 「大和
伊勢みち」
ほか



▲代表質問 (中森博文 議員)

文中の傍線部分については、4ページに用語解説を掲載しています。

代表質問

公共交通について

倉本 宗弘 議員
(草莽)
桑名市・桑名郡選出



問

公共交通は地域の生活に重要なものであり、運転免許証を返納した高齢者ドライバーなどにとっては大切な移動手段ですが、その運営は非常に厳しい状況にあります。公共交通の維持に向けて、中長期的には、自動運転や空飛ぶ車などの新技術によって解決される問題もあるかもしれませんが、短期的には県が主導的に関与することが重要だと考えています。福祉分野や観光分野との連携による新たな需要の掘り起こしなども必要だと思えますが、県の考えをお聞かせください。

答

高齢化の進展等により地域の公共交通の重要性が高まっていることから、市町ごとに、今後のあるべき姿や利便性の向上、利用促進等について、市町、地域住民代表、学識経験者、交通事業者等とともに具体的な対策を検討し、さまざまな分野と連携した取り組みを進めています。今後も、地域の公共交通の維持・確保に向け、地域の実情に応じた取り組みを市町や事業者等と連携しながらしっかりと進めていきます。



その他の質問事項

- 観光について
- 知事の情報発信の在り方について



▲代表質問 (倉本宗弘 議員)

神宮式年遷宮を見据えた観光戦略

中川 正美 議員
(自由民主党)
伊勢市選出



問

県が策定を進めている「強じんな美し国ビジョンみえ(仮称)」は2030年を見据えたものですが、2033年には次期神宮式年遷宮を迎えます。神宮式年遷宮は国内外から本県に注目が集まる大きなチャンスであり、今から関係市町とともに準備に取り組んでいくことが重要だと考えますが、県はどのような観光戦略を打ち出していくのか、知事の考えをお聞かせください。



答

次期神宮式年遷宮を見据え、2025年に開催予定の大阪・関西万博や、リニア開業等の機会に三重テラスや関西事務所を活用し、プロモーションを展開するなど、県民の皆さんや市町・観光関連団体、観光事業者等と一体となり、伊勢神宮をはじめとする三重県の良さをしっかりと発信していきます。

その他の質問事項

- エネルギー戦略(洋上風力発電の導入)
- 困難を抱える子どもの健全な成長について



▲一般質問 (中川正美 議員)

アフターコロナに向けた、みえの新たな観光地づくりについて

東 豊 議員
(草莽)
尾鷲市・北牟婁郡選出



問

三重県は、北勢、中南勢、伊賀、伊勢志摩、東紀州の各地域でそれぞれの特色があり、アフターコロナに向けて、それらの地域の特色を活かした新たな観光地づくりが必要だと思えます。

答

県は拠点滞在型観光を推進するにあたり、県内各地域の特色をどのように捉え、各市町と連携した取り組みをどのように進めていくのか、知事のお考えをお聞かせください。



その他の質問事項

- 生活環境保全の活用について



▲一般質問 (東 豊 議員)

県民の命をまもる自殺防止対策への取り組みについて

今井 智広 議員
(公明党)
津市選出



問

令和4年度は、県において第4次自殺対策行動計画が策定されま



三重県自殺対策ロゴマーク

答

令和2年度に自殺予防電話相談の拡充やコロナに関するこののケア相談窓口の新設を行っており、相談件数は大幅に増加しています。条例の策定については、オール三重で自殺予防に取り組みたいという機運の醸成にも資すると思われるので、次期行動計画の策定過程において議論を進めていきます。

その他の質問事項

- 新たなビジョン・プランのもとでの県民意識の把握について
- 公共土木施設の更なる有効利用「①インフラツーリズム」への取り組みについて



▲一般質問 (今井智広 議員)

新型コロナウイルス感染症のワクチンについて

廣 耕太郎 議員
(新政みえ)
伊勢市選出



問

厚生労働省は、5歳から11歳の小児への新型コロナウイルス感染症のワクチン接種を令和4年3月から始める方針ですが、ワクチン接種については各市町が実施主体となっています。小児へのワクチン接種は効果が薄く、副作用のリスクが大きいので進めるべきではないと考えますが、知事のお考えをお聞かせください。

答

5歳から11歳の小児におけるワクチン2回接種後7日以降の発症予防効果は、90.7%と報告されており、副反応については、安全性に重大な懸念は認められないと報告されています。



その他の質問事項

- 新型コロナウイルス感染症とインフルエンザとの比較
- マスク着用について



▲一般質問 (廣耕太郎 議員)

四日市萬古焼の現状と課題について

山崎 博 議員
(自由民主党)
四日市市選出



問

コロナ危機は萬古な打撃を与えています。土鍋の原料であるアフリカ・ジンバブエ産のペタライトが不足・高騰する中、製品価格への転嫁は難しく、業界は大変厳しい状況にあります。



萬古焼

答

コロナ禍でペタライトの採掘遅延等の影響が出ており、在庫の枯渇が懸念されています。

その他の質問事項

- スポーツ施設について
- 学校部活動の現状について



▲一般質問 (山崎 博 議員)

空き家対策について

日沖 正信 議員
(新政みえ / いなべ市・員弁郡選出)



問 少子高齢化や人口流出、核家族化が進む中、県内の空き家の数は増加し、防災や治安の面からも大きな社会問題となっています。県や市町は危険な空き家の除却などを進めていますが、権利関係や除却費用の負担など、実際の現場では難しい問題に苦慮していると聞きます。社会問題化する空き家への対応について、県の今後の取り組みをお聞かせします。



答 県はこれまで、市町が空き家を移住者向け住宅としてリフォームしたり、略式代執行で除却したりする場合に財政支援を行ってきました。令和4年度は新たに、所有者等が空き家を除却する際の補助制度を設けるほか、県民を対象とした空き家の適正管理等についてのセミナーを開催するなど、空き家の除却や発生抑制に力を入れていきます。

その他の質問事項
○次世代自動車開発に関する支援(④CASEへの対応)について
○東海環状自動車道を活かした観光振興について



▲一般質問 (日沖正信 議員)

がん患者の支援について

木津 直樹 議員
(自由民主党 / 伊賀市選出)



問 アピアランス(外見)ケアとは、治療に伴う外見の変化に対し、その人らしくいられるように外見とともに周りの環境や患者本人の気持ちを整えるサポートです。がん医療の進歩により、治療を継続しながら社会生活を送る方が増えている中、ケアが必要な方がウィッグや補正用下着等を購入する際の費用助成が必要だと思えます。県の考えをお聞かせします。

答 がん治療に伴う脱毛などの外見の変化は、がん患者が社会生活を送るうえで大きな苦痛をもたらすものであると認識しています。県としては、がん患者のニーズをしっかりと把握しながら、事業の必要性や期待される効果について市町とも意見交換を重ね、検討を進めていきます。

その他の質問事項
○災害時における自衛隊・海上保安庁との連携について
○水田農業の振興について



▲一般質問 (木津直樹 議員)

有機農業、オーガニック給食、移住促進、選ばれる三重県について

喜田 健児 議員
(新政みえ / 松阪市選出)



問 三重県において、有機農業をやっている団体と連携し、中山間部の学校にオーガニック給食を導入してはどうでしょうか。食材の安全安心の確保や持続可能な食料システムの創出だけでなく、そこから生まれる地産地消の循環型社会は、その移住を促進し、三重県の人口減少を食い止めると思えます。知事の考えをお聞かせください。



答 オーガニック推進県をめざす取り組みは、循環型社会の構築に向けて一つの良いアイデアだと思えます。小中学校の給食は市町が主体となっており、県として、県と連携してどのように取り組んでいけるか検討していきたいと考えています。

その他の質問事項
○障がい者雇用の定着率向上に向けた取り組みについて
○外国人労働者の雇用定着について



▲一般質問 (喜田健児 議員)

伊勢湾再生に向けた多局連携体制拡充と県土整備部の役割について

小林 貴虎 議員
(自由民主党 / 津市選出)



問 災害対策と経済成長のために行われてきたさまざまなことが、伊勢湾の環境を大きく変えてしまいました。今後、伊勢湾の機能を回復させるために、農林水産部の事業に加え、県土整備部においても、ダムや川の掘削等で発生した土砂や残土を活用して、養浜や藻場・干潟造成の事業を実施することはできないでしょうか。県の考えをお聞かせします。

答 県土整備部では、河川から取り除いた土砂を用いて高潮対策として養浜を行った実績があります。ほか、干潟造成工事にも活用を予定しています。残土を養浜に利用するには、濁りの流出を防ぐための洗浄等に手間やコストを要するなどの課題もありますが、養浜への活用の拡大を進め、伊勢湾再生に貢献したいと考えています。

その他の質問事項
○「予防可能な子どもの死亡を減らすための取組に関する提言」に基づいた施策の実施について
○ライフプラン教育の充実について



▲一般質問 (小林貴虎 議員)

新たな総合計画について

舟橋 裕幸 議員
(新政みえ / 津市選出)



問 県は現在、おおむね10年先を見据えた長期ビジョン「強じんな美し国ビジョンみえ(仮称)」と5年間の中期戦略計画「みえ元気プラン(仮称)」を策定中です。総合計画はややもすると課題を克服するための政策が中心となりがちですが、県民が三重に住もうと考えるとき、リーダーが夢を語るかどうかは大切なことだと思います。知事が総合計画に込める夢をお伺いします。



答 人々が笑って過ごせる三重県を創出していきたいと思えます。多くの県民がニコニコと笑って三重県に住んでよかったです。考える三重県になれば、ここに住みたいと思う人がたくさん来ますし、選ばれる地域になっていきます。ささやかですが、非常に難しく、ある意味大それた夢だと思っています。

その他の質問事項
○新型コロナウイルス感染症対策について
○河芸町島崎町線の志登茂川架橋について



▲一般質問 (舟橋裕幸 議員)

用語解説

1 インフラツーリズム
橋やダムなどのインフラへの理解を深めるため、普段訪れることのできないインフラの内部や、日々変化する工事の風景などの非日常を経験するツアーを地域と連携して展開することにより、地域に人を呼び込み、地域活性化に寄与することを指します。

2 地籍調査
国土調査法に基づき、市町が主体となって、一筆ごとの土地の所有者、地番、地目を調査し、境界の位置と面積を測量する調査のことです。

3 ウッドショック
令和3年に発生した世界的な木材価格の高騰のことです。新型コロナウイルス感染症の影響により、アメリカでリモートワークが増加し、住宅建築需要が高まったことなどが要因と考えられています。

4 CASE
「C」コネクテッド(つながる)、「A」自動化、「S」シェアリング/サービス、「E」電動化といった自動車を取り巻く大きな環境の変化のことです。

三重県議会の本会議等で用いられる議会運営用語の解説については、県議会ホームページの「用語解説」からご覧いただけます。



用語解説

議員の辞職について

名張市選出の北川裕之議員から議員辞職願が提出され、3月9日の本会議で辞職が許可されました。また、桑名市・桑名郡選出の山本佐知子議員から議員辞職願が提出され、3月24日の本会議で辞職が許可されました。これにより、3月24日現在、三重県議会議員は49人となりました。

なお、公職選挙法の規定により、今回、補欠選挙は行われません。

三重県議会定例会 今後の日程(予定)

令和4年5月から6月までの日程(予定)は次のとおりです。

5月	6月
12日 代表者会議、議会運営委員会	3日 本会議(議案上程)
16日、17日 代表者会議	8日 本会議(議案質疑)
18日 代表者会議、議会運営委員会	10日 本会議(一般質問)
19日 本会議(役員改選)	14日 本会議(一般質問)
23日 代表者会議	16日 本会議(一般質問)
24日、26日 各常任委員会	20日、23日 各常任委員会及び分科会
27日 議会運営委員会	28日 予算決算常任委員会
31日 各特別委員会	29日 代表者会議、議会運営委員会
	30日 本会議(採決)

※この日程は、令和4年4月5日現在の予定です。最新の情報は、議会ホームページ内「議会の日程」でご確認ください。